

学習環境部の実践

学習環境部では、家庭との連携を図りながら児童の学習習慣を確立するための方策の考案をした。

1 家庭学習力アンケートをする（別紙参照）

各学年，9月にアンケート調査をした。（各ブロックで同じ内容）

〈アンケート内容〉

- ・学習習慣（大切な学習を，こつこつ続ける力）
- ・生活習慣（規則正しく健康な生活をする力）
- ・自律心（自分から進んで取り組む力）
- ・自己学習力（自分で決めて学習する力）
- ・自己コントロール力（やりたくないこともがんばる力）
- ・自己マネジメント力（自分のふり返りをしてよりよくする力）
- ・生涯学習力（大人になっても学ぼうとする力）
- ・自己成長力（自分をもっと成長させようとする力）

以上の8項目についてアンケート調査をし，結果を集計した。ソフトを使いレーダーで表し（別紙参照）自分の力がどの程度あるか分かりやすく表した。

2 家庭学習のやり方について指針を示す

全校で家庭学習に取り組むことをお知らせし，各学年ごとに「家庭学習について」（別紙参照）のチラシを配布し，10月から家庭学習のやり方を指導して取り組んだ。

3 各学年の実践

各学年「家庭学習がんばりカード」（別紙参照）を使って取り組んだ。

1年生：「家庭学習がんばりカード」で，「次の日の支度、宿題、読書」のチェックを2学期から定期的に取り組んだ。

毎日，家庭に持ち帰り，保護者にチェックしてもらった。

2年生：2学期に2回，各一ヶ月「がんばりカード」を使い，次の日の支度・宿題・読書の3項目で，毎日保護者に点検してもらった。

児童に毎日提出させ，担任が目を通し，必要に応じて声かけを行った。

忘れものを記入させた。読んだ本を記入した児童もいた。

3年生：「家庭学習がんばりカード」を使って，一日40分間の学習を目標に取り組んだ。

10月に行い，効果があったので，毎月（冬休みも）継続して取り組んできた。

4年生：「家庭学習がんばりカード」を使って，一日40分以上の取り組みをさせた。

10月と11月に取り組んで12月は習慣がついたか確認の月とし，2月と3月に取り組んだ。

5年生：自主学習ノートを用意させ，「家庭学習がんばりカード」を活用させながら，

50分間の学習に取り組ませた。毎朝，ノートとカードを提出させ，取り組み状況を確認し，励ましの言葉を添えるようにした。

2学期は10月は一ヶ月間，11月と12月は2週間ずつ，ピックアップして取り組んだ。3学期は2月と3月に2週間ずつ取り組んだ。

6年生：自主学習ノートや自主学習用のドリルを用意させ，「家庭学習がんばり表」を使

って 60 分間の取り組みをさせた。自主学习ノートを毎日提出させ、○付けをし、励ましのシールを貼った。

10月と11月後半から12月上旬の2回活用した。

1月後半から2ヶ月間取り組んだ。

- 4 10月に取り組んだ後、同じ内容のアンケート調査をし、結果を考察した。
2回目のアンケート結果の方が8項目のいずれかの力が伸びてきている子がほとんどだった。この結果は、個別懇談の時の話題にして保護者に家庭学習について関心を持ってもらうように働きかけた。

5 成果

- ・家庭学習への意識が高まった。
- ・宿題以外の自主学习をやってくる子どもが増えて、学習の分野が広がった。
- ・がんばりカードに書くことが意識付けやはげみになり、進んで家庭学習に取り組む子が増えた。
- ・自由勉強の取り組みが増えた。
- ・読書をする習慣が身についた児童が見られた。
- ・次の日の支度や宿題を忘れないよう意識することができた。
- ・がんばりカードに保護者のサインを設けることで、保護者の関心も高まり、意識付けに繋がった。
- ・家庭への啓蒙になった。

6 課題

- ・家庭環境に左右されるせいか、取り組みに個人差がある。
- ・がんばりカードの取り組みがないと取り組む児童が減る傾向があり、更なる意識付けの必要性を感じた。
- ・家庭の教育力の差もあらためて感じた。
- ・がんばりカードをただ配っただけでは、効果は薄い。教師の声かけや、家庭との連携が必要である。
- ・マナー化するので、児童が意欲的に取り組めるような取り組み方を考える必要がある。
- ・教師がどれだけがんばりカードを工夫して使うかによって、児童の意欲も違ってくるのではないか。
- ・学習内容や学習量の個人差がまだまだあり、取り組めない子どもへのさらなる喚起の必要性を感じた。
- ・がんばりカードの存在が無くても取り組めるようにしたい。

7 来年度に向けて

- ・1学期の早い時期から、引き続き家庭学習に取り組ませるための手立てを考えて実践し、習慣づけたい。
- ・入学して間もない時期に、筆箱の中身や鉛筆を削ってくるなどのチェックができ、今以上に定着できると思う。
- ・取り組むことで確実な意識付けに繋がっているので、来年度も年間を通して取り組む必要があると思う。